

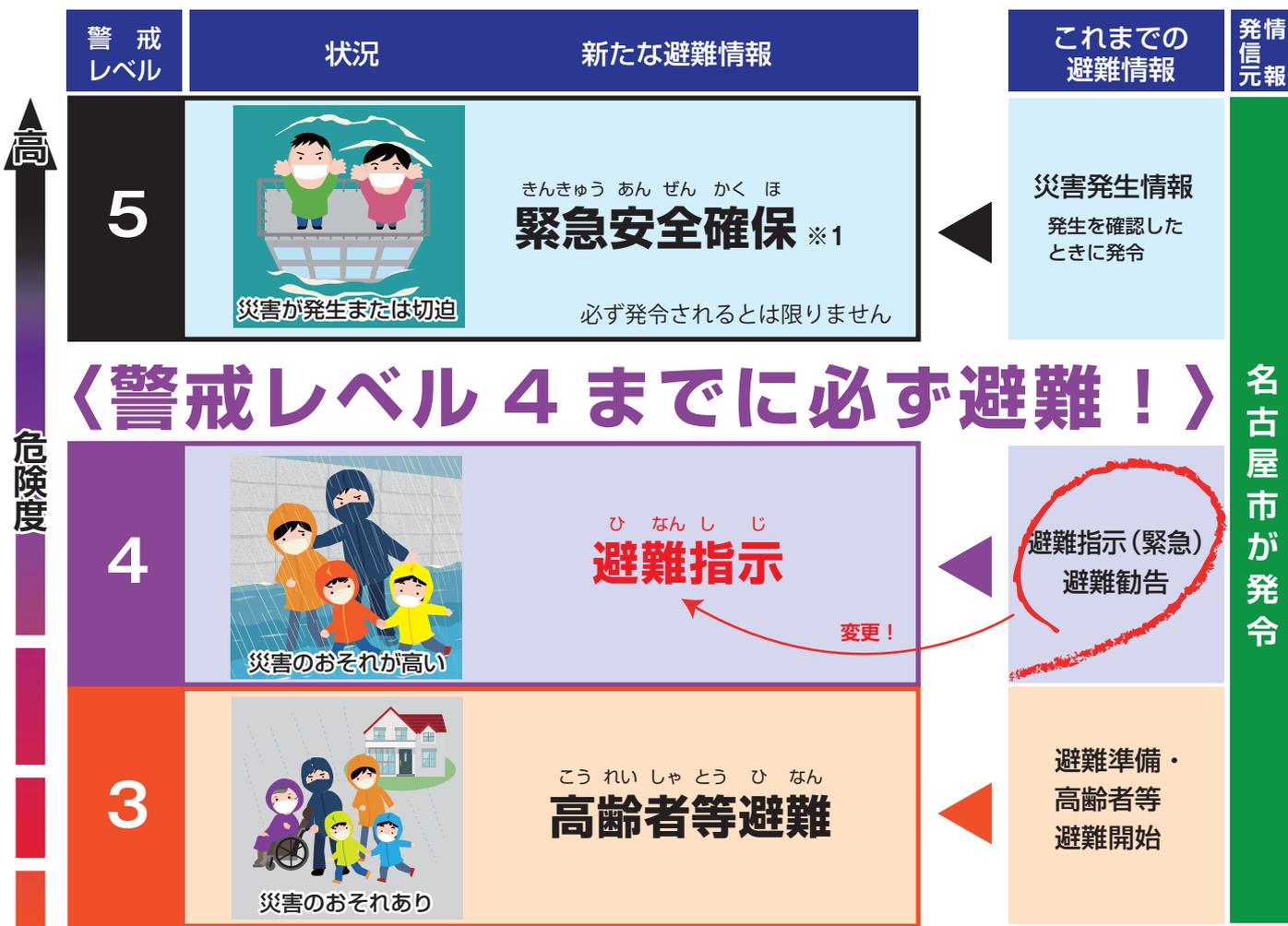


避難に関する情報が変わりました

警戒レベル
4

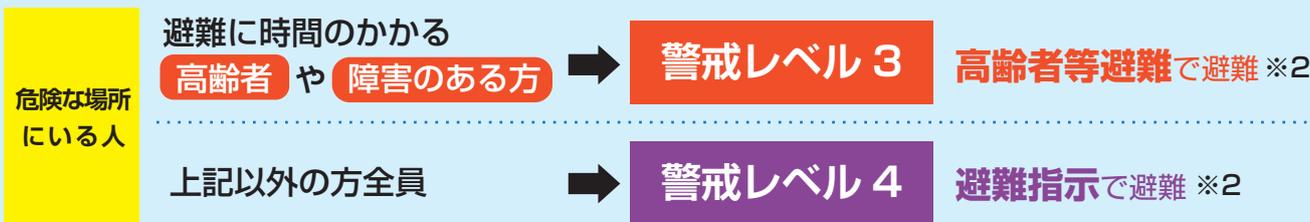
避難勧告を廃止

避難指示に一本化



〈警戒レベル4までに必ず避難！〉

■警戒レベル1、2は、気象庁が発表する注意報など



※1 警戒レベル5・緊急安全確保は、災害が発生または切迫し、避難場所への移動が危険な場合に、少しでも安全な場所で身の安全を確保していただくことを目的に発令します。警戒レベル5の発令を待たず、災害リスクのある地域に住む人は、**警戒レベル4までに避難を完了**しましょう。

※2 避難場所への避難だけでなく、浸水の危険がない上階などで、身の安全を確保することも避難の一つです。

平時に
確認！

災害時に備えてハザードマップと一緒に「避難行動判定フロー」を確認しましょう！

避難指示が発令されたときなどに、自分が避難すべきか判断するためには、平時から、自宅が浸水するかなど、**災害リスクのある地域に住んでいるか**を知ることが大切です。

■ ハザードマップ（洪水・内水、地震、津波）

ハザードマップは、自分の住んでいる地域の**災害リスク**、**指定緊急避難場所**・**指定避難所**の位置などを確認することができます。



ハザードマップ

■ ウェブサイト:「災害時!最寄りの避難所開設状況」

災害時には、位置情報を利用し、ウェブサイト上で、災害時における**避難所の開設状況を確認**することができます。



避難行動判定フロー



災害時の行動をチェック！



避難指示などの発令
(災害発生のおそれ)



自宅は災害リスクのある地域か (河川洪水、土砂災害、津波など)

災害リスク
あり

災害リスク
なし

※安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。

自宅で命を守れるか (浸水しない階に住んでいるなど)

命を守れる

命を守れない

自宅にとどまる

※水や食料を備蓄しましょう

安全な親戚・友人宅
ホテル等への避難

指定緊急避難場所

命を守るため、災害の危険から逃げるための場所
(災害の種類ごとに異なる)

在宅避難

命を守れる場合は
自宅にとどまる

小学校の体育館などの避難場所は、3密(密閉、密集、密接)の環境下になりやすいため、自宅にとどまることができる場合には、新型コロナウイルスなどの感染症にかかるリスクを低減することができます。(自宅にとどまることができない場合には、ためらわずに避難しましょう)